

広島のフランス人墓地 ①～④

(中国新聞〔2018.3.27～3.30〕に連載された記事を転載)

1900(明治33)年7月14日、桂太郎陸軍大臣は、フランス傷病兵の治療の件で小池正直医務局長を広島に派遣し、現地で直接接見の指示をさせている。小池医務局長が桂大臣に宛てた報告書によると、その指示は以下のようなものであった。

・トイレを改修して、またいで腰掛ける洋式大便器を設置すること。小便用洋便を改良し、換気をよくする。

緑地帯

原野 昇

・浴槽を洋式の舟形のものにする
・軽症患者や回復期の患者のために、太アールとフアを備えた談話室を整備すること。
・授乳用病室には、洋式洗面台、鏡、衣掛けを設置すること。
・ベッドは階級差により、下卒用には左来(ひだり)のもの、佐尉(さう)用には右来(みぎ)のもの、佐尉(さう)用には特別製の3種類別製、将官用には特別製の3種類

④ 広島にフランス人墓地

の野菜が列挙してある。飲み物として、ワイン、ビール、日本酒も。また、普通食と特別食があり、特別食は普通食が食べられない患者に嗜好と病状に応じて医官の命によって供された。

このように日本はフランス兵の治療に万全の体制で臨んだのみでなく、入院生活を快適に過ごすことができるようにと細かな神経を使っていた。

(広島日仏協会副会長 東広島市)

中国(清国)での義和団の乱に際し、当初は日本赤十字社が陸軍の許可を得て、広島衛成病院でフランス傷病兵の治療に当たることになっていた。その後、日本政府は閣議で、治療は政府の責任で行うと決定。すなわち陸軍衛生部(病院)が責任を持ち、赤十字社が補助することになった。

その上で、外国人傷病者を陸軍病院で治療するのは初めてのことで、その成否は陸軍衛生部の

緑地帯

原野 昇

評価だけでなく、日本国家の体面に関わることで、若賀栄次郎(後の軍医総監)をはじめとするえり抜きの軍医を任命し、治療に万全を期することになった。若賀はドイツで学んだエックス線技術を導入し、広島での応用が日本で初めてのエックス線診断となった。

当時の日本の指導者は、国際社会において日本が西欧の列強に伍

③ 広島にフランス人墓地

する近代国家として認知されるように、必死の努力をしていた。そのために国際法を重んじ、それに類する国際ルール、中でも人道主義の尊重を率先して順守しようとしていた。

先述した山本権兵衛海軍大臣が東郷平八郎常備艦隊司令長官に宛てた通達の中でも、日本赤十字社の病院船博愛丸の保護と便宜供与(広島日仏協会副会長 東広島市)

1900(明治33)年6月27日、日本赤十字社の佐野常民社長は、中国(清国)で戦争義和団の乱が始まったに伴って戦病傷者が増えることを見越して、病院船博愛丸を中国の太沽港に派遣することを決断。その許可を桂太郎陸軍大臣、山本権兵衛海軍大臣に願い出た。

許可願の中で、日本人負傷者のみでなく外国の傷病者をも救護して、赤十字の精神を全うしたいと

緑地帯

原野 昇

いつまでも書き添えている。博愛丸は日本赤十字社がその2年前、英国の造船所発注して建造した日本初の病院船である。

日本赤十字社は、1877年に西南戦争に際して佐野が熊本洋行に派遣が許可されている。翌年、86年に日本政府がジュネーブ条約に加入したに伴って、翌87年に改称されたものである。当初

② 広島にフランス人墓地

は政府の理解が得られなかったが、有精川宮煙仁親王の義勇で認可された。

防衛研究所図書所蔵の貴重な資料によれば、先の博愛丸派遣許可願が出されたその翌日、6月26日学校に設立した博愛社を前身とし、86年に日本政府がジュネーブ条約に加入したに伴って、翌87年に改称されたものである。当初

広島にフランス人の墓があるのを存じだろうか。場所は比治山(広島市南区)の南側、放射線影響研究所の裏手にある比治山陸軍墓地の一角である。

1900(明治33)年、中国(清国)における列強排撃の聲起「義和団の乱」に際し、日本をはじめ8カ国連合軍が参戦、鎮圧した。北清事変とも呼ばれる。この時負傷したフランス人兵士1



原野 昇

20人余りが広島に搬送され、現在の基町アパート(中区)辺りにあった陸軍病院(広島衛成病院)で治療された。そのうちの7人は治療のいかにもなく広島で永眠した。

葬儀は、研屋町(現在の中区立町辺り)にあったカトリックの天主教会堂で挙行された。彼らを葬る墓地として、市民と陸軍は比治

以来118年、墓地は比治山陸軍墓地奉賛会の手で、きれいに維持管理されている。その間、第2次世界大戦中にドイツと同盟関係にあった日本にとって、フランスは敵側の国であったが、墓は破壊されることなく守られ続けてきた。比治山のフランス人墓地は、広島とフランスの友好関係の原点でありシンボルである。

(はらの・のぼる 広島日仏協会副会長 東広島市)



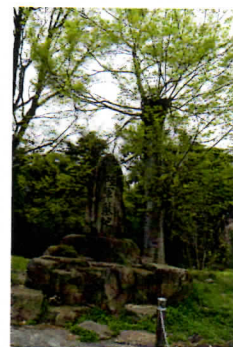
フランス人墓地の碑

正面にフランス語。
両サイドに『HONNEUR AUX BRAVES MORTS POUR LA PATRIE』と表示されています。
裏側は全て漢字の表示です。

*写真・キャプションは全て岩田啓作氏



入口からの道。入口に新しい花が供えてありました。道の両側は出身県毎に置かれた日本人の墓碑。



「陸軍墓地」入口に設置された碑

毎日「国旗」が掲揚されているようです。比治山(ひじやま)には人家が無く、誰も住んでいません。国旗のすぐ右に小山が見えます。似島(にのしま)という瀬戸内海の島です。原爆投下の日に被災者が似島に船で運ばれ、多くの人たちが島で亡くなりました。

広島のフランス人墓地 ⑤～⑧

(中国新聞〔2018.3.31～4.5〕に連載された記事を転載)

比治山陸軍墓地(広島市南区)の一角にある7人のフランス兵士の墓は、長方形の平らな石が置かれた、一基一基独立したキリスト教式の墓である。それぞれの墓石には、兵士の名前、所属部隊名、出生地、生年月日、死地、死亡年月日が彫られている。

5人の死地は「広島」であり、中区基町にあった衛戍病院で死亡したものである。しかし、2人の死地は「手品俣泊地」となっている。

緑地帯 原野 昇

子孫探しを依頼する筆者からの手紙を受け取ったフランスの七つの市町村長は、その手紙を市民籍の担当者や、可能性のある関係者に回した。子孫が見つかったフルターニユ半島の町ランヴェオックでは郷土史家の手を借りて、もう一つの町エタでは退役軍人の会の会長が、子孫を探し出してくれたのであった。その際、スウィニール・フランセ協会にも協力依頼がなされた。

緑地帯 原野 昇

筆者は2004年にフランスを訪れた際、子孫探しに協力してくれた村長を表敬訪問した。その時の様子が現地の新聞で報道されると、ある夫人が名乗り出てくれた。自分の祖父は、広島で死亡した兵士たちと同じ時期に広島の病院で治療を受け、治療して帰国したという。

緑地帯 原野 昇

幕末の1858年に日仏修好通商条約が締結されて150周年の2008年、日本とフランスでさまざまな行事が行われた。広島日仏協会は、比治山(広島市南区)のフランス人墓地に眠る兵士、および広島で治療を受けて帰国した兵士の孫2家族7人を招待し、記念の慰霊祭を挙行政した。

緑地帯 原野 昇

広島市フランス人墓地 ⑤ 19日の約3カ月間、死時時の年齢は21〜32歳である。何とかして子孫を探し出し、祖先の墓が広島にあり、今もきれいなシエ、フルターニユ半島のランヴェオック、同半島南部のケルウィニヤック、パリ北東のアルトージュ、中南部のエタである。死地は「手品俣泊地」となっている。死地は「手品俣泊地」となっている。死地は「手品俣泊地」となっている。

緑地帯 原野 昇

スウィニール・フランセ協会とは、祖国フランスのために命を落とした人の行為を記憶し、次の世代に伝えていくことを目標に「我々の記憶を、彼らに不滅を」を標語に掲げて活動している団体で、国内外にある墓地や記念碑の維持管理も行っている。共和国大統領後援の団体であり、名誉役員には首相、上院議長、下院議長らが名を連ねている。

緑地帯 原野 昇

広島市フランス人墓地 ⑦ 1949年、広島大でフランス文学を講義していた中村義男教授が中心となって創設された。フランス語講座を実施する広島日仏協会の運営活動の中心に、パリ祭やボジヨム・ヌーヴ解禁に合わせた「日仏友好のタペ」、フランス文化講演会などを続けて、来年は創設10周年。関心を持っていただけでは幸いである。

緑地帯 原野 昇

生合唱団によるレクイエムの合奏に続き、子孫探しに尽力されたエタ町の退役軍人の会長からのメッセージが読み上げられた。その中で会長は「死者たちのことを忘れたら二度死ぬことになる」という作家エリ・ヴィーゼルの言葉を引用し、同じ時間にエタでも広島での記念式に思いを寄せていると連絡を表明した。1 広島日仏協会、戦後間もない

緑地帯 原野 昇

の全てから返事があつた。五つの市町村からは、子孫を探し出すことができなかったというものであった。彼らの多くは未婚で戦地に赴き、亡くなったので、直系の子孫はいない。兵士は幸運な子孫がいない、その子孫を探すが、それが至難の業であった。幸いランヴェオックとエタの二つの町からは、子孫が見つかったという返事が来た。

緑地帯 原野 昇

スウィニール・フランセ協会がこの碑を建立した。エタにある戦没者記念碑には、二つの世界大戦で死亡した同町出身者の名前が書かれているが、1900年に広島で死亡した兵士の名はなかった。そこで町とスウィニール・フランセ協会と広島日仏協会が協力し、その兵士のためだけの大理石の記念銘板を作り、2004年6月に設置した。

緑地帯 原野 昇

や、統制がとれていないことが記されている。一俺たちに不足しているものは、フランスの情熱と娯楽とおいしいフランス料理だ。というのもこの国では西洋人とどうも違いが感じられる。まあ何とか食べられるがね」とも記している。明治時代に広島の病院で治療を受けた当事者の、貴重な証言となっている。

緑地帯 原野 昇

1949年、広島大でフランス文学を講義していた中村義男教授が中心となって創設された。フランス語講座を実施する広島日仏協会の運営活動の中心に、パリ祭やボジヨム・ヌーヴ解禁に合わせた「日仏友好のタペ」、フランス文化講演会などを続けて、来年は創設10周年。関心を持っていただけでは幸いである。

緑地帯 原野 昇

JSTVはフランスでの新生活を応援します!

インターネット受信での視聴に限り。

今なら
**お得な
キャンペーン**
実施中!

お手軽な
インターネット受信で
1ヶ月間
のみの視聴で

€27
[通常月額€50]

日本の人気番組やニュースを24時間放送中のJSTV。
お得な料金で今がご加入のチャンス!

多月のイチオシ番組!
©2018 Fuji Television Network, Inc.

東山昌大 × 長澤まさみ × 小日向文世
フジテレビ系ドラマ
「THE CONFIDENCE MAN JP」
5月23日(水)スタート

西郷 毎週日曜放送
もももも 毎週木曜放送

テレビ朝日系ドラマ
「相棒」
毎週火曜放送
毎週月～土曜放送

連続テレビ小説
「半沢直樹」
毎週月～土曜放送

ニュースワッチ9
JSTVではNHK国際放送のニュース、
情報番組を放送しています。

子供番組も充実!
「マツコ&リリー・シュルツ」
毎週土曜放送

土曜時代ドラマ
「向井理」
5月22日(火)スタート

風の子兵衛
毎週木曜放送

パリ希望祭にJSTVが出展します! 当日加入でお得な特典も! ぜひお越しください。

お申込みは今すぐ! **www.jstv.co.uk**

Tel. +44 20 7426 7330
※番組内容や放送日は変更
されることがあります